

参考資料

平成25年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
企 業 局

平成 2 5 年 度 公 営 企 業 会 計 予 算 総 括 表

I 総 額

(単位：千円)

会 計 名	収 入			支 出		
	平成 2 5 年度 当初予定額	平成 2 4 年度 当初予定額	伸長率 (%)	平成 2 5 年度 当初予定額	平成 2 4 年度 当初予定額	伸長率 (%)
1 工業用水道事業会計	3,351,288	3,638,723	△ 7.9	3,669,456	3,415,665	7.4
収 益 的 収 支	2,081,733	2,079,289	0.1	2,034,214	1,931,304	5.3
資 本 的 収 支	1,269,555	1,559,434	△ 18.6	1,635,242	1,484,361	10.2
2 水道用水供給事業会計	54,117,808	54,492,288	△ 0.7	70,283,621	71,034,857	△ 1.1
収 益 的 収 支	43,439,248	44,151,948	△ 1.6	42,107,707	42,157,662	△ 0.1
資 本 的 収 支	10,678,560	10,340,340	3.3	28,175,914	28,877,195	△ 2.4
3 地域整備事業会計	10,301,473	4,202,271	145.1	11,310,367	8,142,941	38.9
収 益 的 収 支	7,294,576	1,195,993	509.9	6,288,866	621,788	911.4
資 本 的 収 支	3,006,897	3,006,278	0.0	5,021,501	7,521,153	△ 33.2
合 計	67,770,569	62,333,282	8.7	85,263,444	82,593,463	3.2
収 益 的 収 支	52,815,557	47,427,230	11.4	50,430,787	44,710,754	12.8
資 本 的 収 支	14,955,012	14,906,052	0.3	34,832,657	37,882,709	△ 8.1

※ 収益的収支は、当該年度の事業活動に伴い予定される料金収入等の収益とそれに対応する維持管理費等の費用

※ 資本的収支は、建設改良等将来の収益に向けた投資や企業債償還金等に要する支出とその財源となる収入

※ 各会計における資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、損益勘定留保資金等で補てん

II 主な新規事業及び重要施策

(単位：千円)

1 安心・安全を広げる分野

○ 暮らしの安心・安全を確保する

安全な水の安定的な供給

・水道水源開発施設整備事業	3, 237, 359
・武蔵水路改築事業	439, 625
・滑川第二支線整備事業	285, 424
・久喜新規支線整備事業	98, 727

○ 危機・災害に備える

危機管理・防災対策の強化

P 1 新規・水質監視体制の強化	87, 558
------------------	---------

震災に強いまちづくり

P 2	・第一次送水管路更新事業(支線)	1, 005, 982
	・荒川横断送水管路更新事業	297, 914
	新規・工水配水管路更新事業	89, 370
	・中継ポンプ所拡張整備事業	239, 168
	新規・柿木浄水場排水処理施設等更新事業	59, 324
	・水道施設耐震化事業	354, 500

2 経済・産業を支える分野

○ 埼玉の成長を生み出す産業を振興する

新たな成長を導く次世代ビジネスの振興

P 3	・水ビジネス関連事業	14, 729
-----	------------	---------

産業集積の推進

・白岡瀬地区産業団地整備事業(白岡西部産業団地)	733, 593
・幸手中央地区産業団地整備事業	3, 928, 225
・杉戸屏風深輪地区産業団地整備事業	107, 683
・産業団地整備支援調査費	52, 000

○ 埼玉の成長を支える社会基盤をつくる

埼玉の成長を支えるまちづくり

・白岡瀬地区産業団地整備事業(白岡西部産業団地)(再掲)	733, 593
・幸手中央地区産業団地整備事業(再掲)	3, 928, 225
・杉戸屏風深輪地区産業団地整備事業(再掲)	107, 683
・産業団地整備支援調査費(再掲)	52, 000

3 環境を守り育てる分野

○ エネルギー利用を見直し地球温暖化を防ぐ

環境に配慮した産業社会の構築

再生可能エネルギー活用の推進

P 4	・環境対策事業	752, 833
-----	---------	----------

水質監視体制の強化

担当 水道管理課
水質担当
内線 7094

1 目 的

安全・安心な水道水質を確保するため、河川水質の変化や異常の早期発見並びに緊急時における水質検査体制を強化する。

2 予算額 87,558千円

3 事業概要

(1) 通常時の河川監視の強化

河川における水質検査地点数、頻度、検査対象項目を拡充し、水道水の安全性をさらに高める。

ア 大久保浄水場及び庄和浄水場に分析機器を整備し、サテライト分析所として活用する。

サテライト分析所用分析機器設置	20,034千円
サテライト分析所工事費	12,900千円
水質検査業務費	38,874千円

イ 水質管理センターに分析機器を増設する。

水質管理センター分析機器増設	15,750千円
----------------	----------

	平成24年度	平成25年度
検査地点数	20地点	27地点
検査頻度(最重要3地点※)	1回/月	4回/月
検査項目数(最重要3地点※)	43項目	64項目
年間総検査数(検体数×項目数)	約8,000	約20,000

※大久保、庄和、行田浄水場の原水

(2) 緊急時の水質検査体制の強化

緊急時には、新設したサテライト分析所の機器をフル活用することにより、全県での検査結果の早期把握と検査頻度の増加を図る。

検査時間 約6時間 → 約4時間 (搬送時間の短縮による)

検査頻度 約2倍 (6件/時 → 12件/時)

危機・防災対策事業

担当 水道管理課
大久保・行田・吉見担当
内線 7077

1 目的

地震動レベル2（震度6強程度）に対応した管路・施設等の耐震化を図るとともに、災害時の水量確保のために調整池を整備する。

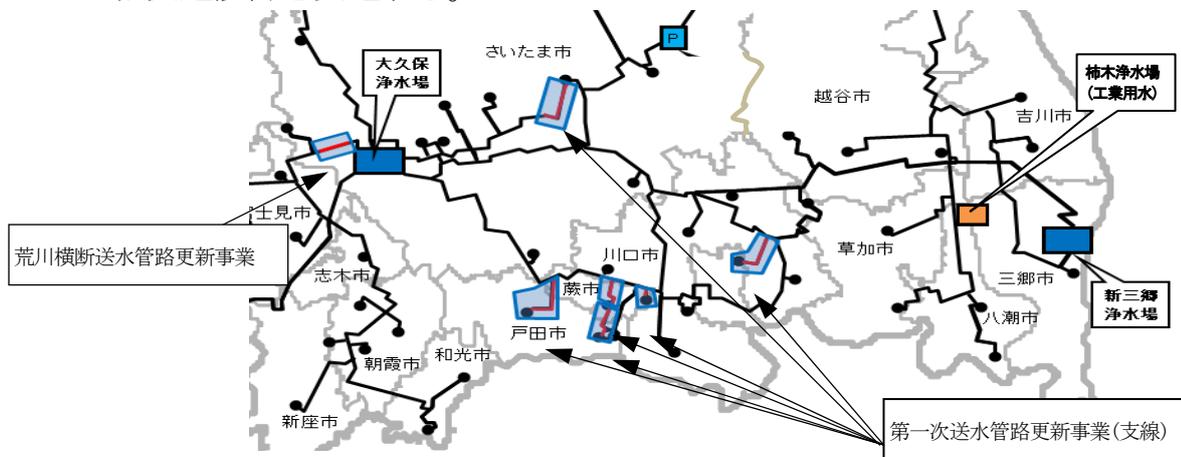
2 予算額 2,046,258千円

3 事業概要

(1) 管路の更新・耐震化 1,393,266千円

ア 第一次送水管路更新計画及び荒川横断送水管路更新事業に基づき、水道管の更新・耐震化を実施する。

イ 第一次配水管路更新計画に基づき、工業用水の水管橋耐震診断及び耐震補強実施設計を実施する。



(2) 調整池の整備、施設の耐震化等 652,992千円

ア 地震などによる長時間の停電においても必要な水量を確保する送水調整池増設や浄水場施設の耐震補強工事等を実施する。

イ 老朽化の著しい柿木浄水場排水処理施設等の更新を実施する。

【中継ポンプ所拡張整備事業】

- ・上赤坂中継ポンプ所（狭山市）
20,000m³/池×2池 増設
- ・江南中継ポンプ所（熊谷市）
10,000m³/池×1池 増設

【柿木浄水場排水処理施設等更新事業】

- ・排水処理施設、電気設備等の更新設計



既設 送水調整池
(上赤坂中継ポンプ所)

水ビジネス関連事業

担当 総務課
国際水事業・人材開発担当
内線 7016

1 目的

今後、成長が見込まれるアジア市場をターゲットに、国際技術協力と企業局のノウハウを提供した官民連携によるビジネス案件の形成を目指す。

2 予算額 14,729千円

3 事業概要

(1) 国際技術協力 12,762千円

JICA 事業を活用し、タイ王国及びラオス国における水処理技術等の技術支援を実施する。

《タイ》水処理管理マニュアル策定や
施設改善の提案
平成23年4月～平成26年3月（3年間）

《ラオス》浄水場の拡張・施設整備に係る
基本計画策定の支援
平成24年8月～平成29年8月（5年間）



タイにおける技術支援
(水源の水質検査手法を指導)

(2) 官民連携の推進 1,586千円
県内企業の海外展開を支援する。

《県内企業が取り組む海外水ビジネス案件》
・タイ工業用水供給案件
・マレーシア水処理薬品製造案件等



タイ工業用水供給案件の現地実証プラント

(3) 英語版パンフレットの作成 381千円

環境対策事業

担当 水道管理課
水運用・省エネ担当
内線 7095

1 目的

地球温暖化対策を推進するため、省エネ機器の導入、再生可能エネルギーの活用を行い、より一層の環境対策に取り組む。

2 予算額 752,833千円

3 事業概要

(1) 省エネ機器の導入

- ・取水、配水ポンプのインバータ化(回転数制御による使用電力量の削減) 157,127千円

導入箇所 大久保浄水場、庄和浄水場

- ・照明設備のLED化 13,261千円

導入箇所 行田浄水場、水道整備事務所

(2) 再生可能エネルギーの活用

- ・太陽光発電設備の導入 582,445千円

導入箇所 吉見浄水場

規 模 700kW (自家消費)

245kW (売電)



設置イメージ (行田浄水場太陽光発電設備写真)